

より安全でより健康な製品

安全な成分を厳選して用い、安心して使える製品をお届けします。

社会的課題

近年、SNSやブログなどのソーシャルメディアの発達により、ウェブ上でさまざまな情報が容易に入手できるようになっています。そうした状況を受け、より多くの生活者が、製品に用いられている成分の安全性やサステナビリティについて関心を高めており、自ら関連した情報を調べることも可能になっています。一方で、ウェブ上などでは、科学的根拠の不確かな情報も含まれており、偏った情報があたかも真実のように広がる可能性があります。

方針

花王は、常に安全性を第一として、人の健康はもちろん、環境への影響やサステナビリティに配慮し、製品開発に取り組んでいます。製品を安心してお使いいただくために、国内外において社会的に関心の高い成分に関して、科学的根拠に基づいた安全性情報と共に花王の考え方をお伝えします。高い透明性と責任あるコミュニケーションを実行することにより、多くのステークホルダーに共感していただき、未来へと続く信頼の絆を深めます。

戦略

リスクと機会

リスク

社会的に関心の高い成分について、不適切な情報が混在しており、花王の提供する製品に該当する成分が含まれる場合、製品の価値が正しく理解されないおそれがあります。また、人の健康や環境などへの影響が懸念される成分について、私たちの考えが示されていない場合、信頼を著しく損なうリスクがあります。

機会

花王において想定されるリスクを的確に捉え、花王の考えを積極的に公開し、リスク回避を図ります。製品に使用する成分に関して、科学的な評価を受けた情報に基づいて花王の考え方を適切にわかりやすく提供することで、生活者・顧客に理解を深めていただき、花王やその製品に対する信頼性を高める機会を得ることができます。また生活者・顧客と花王が共通の情報をもとにしたコミュニケーションは、花王への信頼性を高める基盤となり、イノベーションの創出、新たな価値の創造など“よきモノづくり”への貢献につながる機会となります。

戦略

製品に使用する成分について、リスクと機会を評価した上で、花王の考えを積極的に公開しています。成分の方針公開によるコミュニケーションを通じて生活者・顧客からの信頼の維持・向上につなげると共に企業の持続的な成長に貢献します。

1. 花王の考えを発信すべき重要度の高い成分の特定

製品に使用する成分の安全性、サステナビリティに関わる事項に関して、生活者・顧客の関心や国内外の社会動向を的確に捉え、花王の考えを発信すべき重要度の高い成分を特定する。

2. 科学的根拠に基づいた花王の考えを公開

社会的に関心の高い成分のうち重要なものから科学的に検証された安全性情報をもとに、花王の考えを積極的に公開する。こうした公開を通じて生活者・顧客と共通の情報を共有し、コミュニケーションを図ることで、誤解のない正しい理解を得ると共に信頼関係を構築する。

社会的インパクト

さまざまな情報がある中で、安心して製品を使っていただくためには、科学的に検証された情報に基づいて花王としての考え方を開示することが必要と考えます。花王の考え方を公開することにより、生活者・顧客

より安全でより健康な製品

GRI3-3, 404-2, 416-1

に理解を深めていただくと共に、安心して製品をお選びいただけます。その信頼が個人から地域、そして社会全体に広がることで、より一層の大きな信頼を社会的に築くことができます。

貢献するSDGs



事業インパクト

社会的に関心の高い成分について考え方を公開することにより、製品に対する信頼を獲得でき、“よきモノづくり”への貢献を通して事業および企業価値の向上につながることを期待できます。

ガバナンス

体制

ESGコミッティに設置されている化学物質管理ステアリングコミッティのもとで活動を推進しています。国内外の関連部門のメンバーからなるワーキンググループにおいてリスク評価、情報開示すべき成分の抽出、考え方の素案の作成をしています。さらに、事業・研究など関連部門のリーダーが集まる会議に諮った上で、成分の考え方を公開しています。

P18 Our ESG Vision and Strategy > ガバナンス

教育と浸透

より安全でより健康な製品の開発を推進するために、製品や製品に含まれる成分における人の健康や環境影響に関する安全性情報などについて、広く世界から収集し、社内ポータルサイトで情報を共有しています。これらの情報は、事業・研究などさまざまな部門で共有し、社員はグローバルな視野で理解を深めています。

ステークホルダーとの協働

社会的に関心の高い成分について科学的根拠に基づいた安全性情報を踏まえて花王の考え方を開示しています。この取り組みを通じて、生活者・顧客からの信頼の維持・向上につなげると共に、製品を安全にお使いいただくことや、適切な製品の選択をサポートしています。

生活者・顧客とのコミュニケーション/理解促進

生活者・顧客から成分に関する安全性などの問合せをいただいた際には、その内容について多角的に分析し、広い視野で見識を深めています。その分析情報をもとに、公開する成分について理解しやすい開示内容および表現になるよう努めています。

社内関連部門との連携

人の健康および環境に関わる安全性情報を広く世界から継続的に収集することで、成分の選定や製品の安全性評価に役立て、安心してお使いいただける製品の開発につなげています。

業界団体・行政との連携

各国・地域で業界活動に積極的に参画することにより、また、行政とコミュニケーションを深めることで、安全性に関する情報を精査しています。

リスク管理

公開する成分を選択する際、および考え方を公開した後にも次のようなリスク管理を行っています。

1. 公開する成分の選択

公開する成分について国内外の社会動向、科学的知見に基づいた安全性情報などを踏まえ、想定されるリスクのアセスメントをワーキンググループにて行います。その後、化学物質管理ステアリングコミッティ傘下の会議において、花王の考えを発信すべき重要度が高い成分かどうかを判断します。公開すべきと判断した成分に関しては、公開に向けて迅速に対応を進めます。

2. 公開後のフォローアップ

公開後も、多角的な分析調査を積極的に進め、新たな

より安全でより健康な製品

GRI3-3, 416-1

リスクが生じていないかワーキンググループにおいて継続的にモニタリングします。規制や科学的知見が更新されるなど、新たな課題が見出された場合は、速やかに公開情報の改定や新たな情報開示などの適切な対応を行い、社会からの信頼向上につなげます。

P33 Our ESG Vision and Strategy > リスク管理

目標と指標

中長期目標と2022年実績


2030年長期目標

社会的に関心の高い成分について、人の健康および環境に関わる安全性情報の収集およびその内容の妥当性を検討した上で、方針を策定します。2022年までに8成分の公開という中期目標については、2021年において10成分を公開し、前倒しで達成しました。中期目標を前倒しで達成したことから、長期目標については、16成分から18成分に変更しました。

2022年実績

社会的に関心が高い成分である3成分(アルミニウム塩、PEG(ポリエチレングリコール)、鉱物油)について2022年4月に、5成分(フェノキシエタノール、フッ素(フッ化物)、BHT(ジブチルヒドロキシトルエン)、オキシベンゾン、オクチノキサート)について2022年12

月にサステナビリティサイトにて公開しました。

 花王製品に含まれる成分についての考え方
<https://www.kao.com/jp/innovation/safety-quality/ingredients-contained/>

2022年実績に対する考察

ワーキンググループを定期的に開催し、上記の8つの成分の公開内容について議論を重ね、素案を作成しました。作成した素案について、事業・研究など関連部門のリーダーとも内容を確認し、議論を深めた上で、公開する文面をまとめました。これまで活動を継続的に推進し、合計18成分について考え方を公開し、2030年の長期目標である18成分を前倒しで達成しました。今後も多角的な分析調査を進め、社会的に関心の高い成分について適切な情報を公開してまいります。

より安全でより健康な製品

GRI2-28, 416-1, 417-1

主な取り組み

安全・安心な成分の使用と情報開示

花王は、社会的に関心が高い成分について、科学的に精査された情報をもとにした考え方や対応を積極的に公開しています。これまでに10成分(アルキル硫酸塩、1,4-ジオキサン、ホルムアルデヒド遊離型防腐剤、パラベン類、マイクロプラスチックビーズ、防腐剤、シリコン、タルク、紫外線吸収剤、香料(香り))について考え方を公開しました。2022年に社会的に関心が高い8成分(アルミニウム塩、PEG(ポリエチレングリコール)、鉱物油、フェノキシエタノール、フッ素(フッ化物)、BHT(ジブチルヒドロキシトルエン)、オキシベンゾン、オクチノキサート)について考え方を公開しました。これまで活動を継続的に推進し、今年度で合計18成分について方針公開に至りました。

社内では当該成分の基本情報、健康や環境への影響に関する安全性情報などの整備を行い、適切に情報公開が行えるように管理体制も整えています。



花王製品に含まれる成分についての考え方
<https://www.kao.com/jp/innovation/safety-quality/ingredients-contained/>

業界活動／コミュニケーション

日本化粧品工業連合会において、健康や環境への影響に関する規制化動向をグローバルに把握し、その対応を検討する活動に積極的に参加しています。世界各

国・地域の工業会との連携も図りつつ、科学的な情報のとりまとめ、日本における使用状況の把握、行政のパブリックコンサルテーション等に対する意見提出において中心的な役割を果たしました。このほか、日本石鹸洗剤工業会、日本化学工業協会等関連の業界活動にも積極的に参画しています。また、世界主要地域における工業会活動にも参画し、情報収集を図ると共に、特にASEANを含むアジア地域においては行政との情報交換等に貢献しています。

さらに、生活者・顧客、取引先等と適切なコミュニケーションに努めています。例えば、成分の使用やその安全性に関する問い合わせ等があった際には、迅速に適切な情報を提供しています。また、いただいた問い合わせをもとに、社会的に関心の高い事項を分析調査し、製品の開発に役立てます。